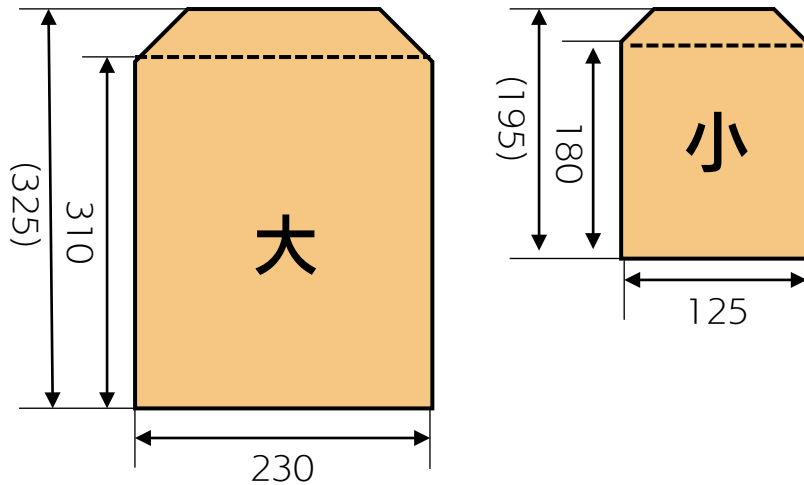


# 本屋さんの紙袋を作ってみよう(1)



## 1 袋の大きさを確認しよう



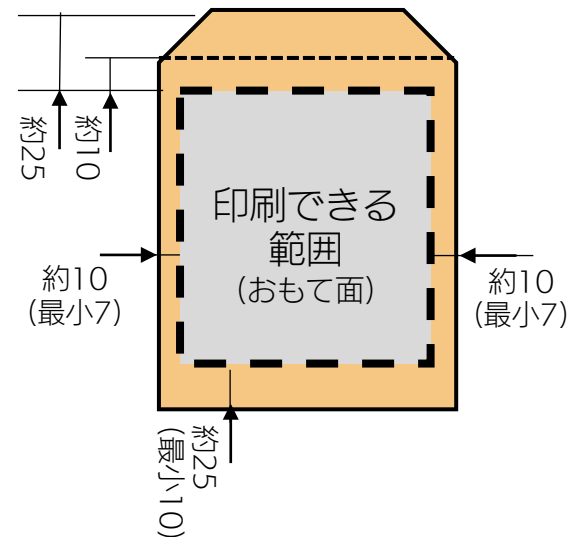
呼び寸法はフラップを含めない大きさを、mmで表します。

(原稿はフラップ込みの大きさで作ります。)

大：「未晒クラフト紙袋 230X310」

小：「未晒クラフト紙袋 125X180」

## 2 印刷範囲を意識しよう

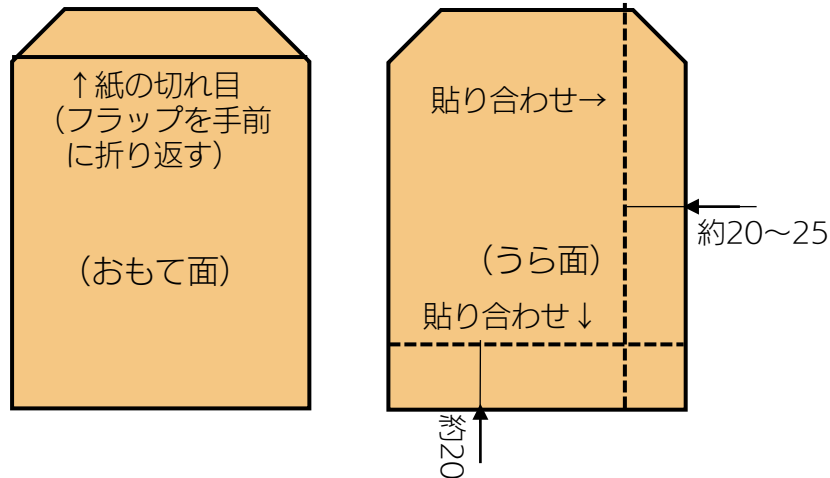


- 袋の端から10mm程度は空けておきます。(あまり端に近い部分に印刷すると、汚れることがあります。)
- フラップの部分は通常は印刷しません。
- 下端から20~25mmは貼り合わせで厚くなっており、しわやたわみなどが生じやすいです。

# 本屋さんの紙袋を作ってみよう(2)



## 3 貼り合わせにも留意しよう



- 普通は上図「おもて面」に印刷します。
- フラップは普通の封筒とは逆の面にあります。
- 紙の切れ目付近に印刷してしまうと、内容物を出し入れするときに汚れることがあるため、印刷しません。フラップにも通常は印刷しません。
- うら面に印刷する場合、貼り合わせに重なるように印刷すると、インキのにじみや汚れの原因になることがあります。(程度の問題ですが、お客さまがそれでよければ印刷はできます。)

## 4 原稿を作ろう

- 「2. 印刷範囲を意識しよう」を参考に、原稿(データ)を作ります。
- ページサイズはフラップを含む大きさに作ります。(ただしフラップと境目付近には印刷しません。)
- 上はフラップ込みで25mm程度、下もできれば25mm程度(最小10mm)、左右は10mm程度空けるようにします。

(ページサイズ)

紙袋(大)・・・230X325

紙袋(小)・・・195X125

※周囲を空けていただくため、塗り足しも不要です。

- 印刷方式は孔版印刷です。
- 印刷の色にかかわらず、原稿は黒1色で作ります。

# 本屋さんの紙袋を作ってみよう(3)



## 5 注文をしよう

- 紙袋も当社での分類は「ペーパー」です。
- 入稿の方法などは、EditNetプリンテックのwebページをご覧ください。
- 料金の計算はe窓を使えます。
- 本のセットプランと同時に入稿・納品する場合、送料がかかりません。本と一緒にの注文がお得です。
- 複数のペーパーを同時に入稿・納品する場合、送料は1回分です。
- 紙やインキ、枚数などの仕様がすべて同じで、原稿だけ差し替えて複数の印刷物を作る場合、割引があります。

## 6 その他全般的な注意点

- 紙が薄いため、ベタなどインキの量の多い印刷は、しわや汚れの原因になることがあります。
- 普通の紙に比べて位置ずれなどが起こりやすいです。
- 多色刷りや両面印刷は位置ずれや汚れなどの原因になりやすいので、あまりお勧めできません。
- 端が多少折れたり、しわが寄ったりすることもあります。（仕入れの段階で多少生じていることもあります。材料の性質上多少は生じるものとお考えください。）
- 寸法は多少の誤差があります。
- 袋の仕様が変更になることがあります。
- 紙も印刷方式も、精細な仕上がりを期待する場合には不向きです。ご了承の上ご利用ください。